



東方小学校
川崎 正一

「ト身体を鍛え智を磨き、強き心の人たらむ」(東方小学校歌)の歌詞のように、理想とする子どもをの姿を目指し、全職員心を一つに頑張ります。



細野小学校
島名 雅彦

紙屋小学校から赴任しました。学校・家庭・地域が連携・協働しながら、子ども達のよさや可能性を伸ばせるよう、職員一丸となって頑張ります。



南小学校
浦田 修治

幸ヶ丘小学校から赴任して参りました。唯唯子どもが多さにとまどっています。地域の核となる南小になるよう、職員一同頑張っています。



小林小学校
渡邊 康隆

三松小学校から赴任しました。保護者や地域の皆様の力添えをいただき、共に子どもを育てる学校を目指し、職員と力を合わせ全力で頑張ります。

4月に赴任した小・中学校の新しい校長先生13人を紹介します。【敬称略】



野尻小学校
林 美智子

前任校の南小で学ばせていただいた事を胸に「地域の宝」の野尻っ子たちの健全育成に努め「個性が輝く活気ある学校の実現を目指します。」



須木小学校
岩田 和博

「元氣、やる気、本氣、笑顔一杯の須木っ子」をキャッチフレーズに須木っ子が充実した学校生活が送れるよう職員一丸となって頑張っています。



幸ヶ丘小学校
齋藤 一

小林市には、教諭、教頭時代を含め9年間お世話になりました。再び勤務できることに感謝申し上げます。情熱と使命感をもって取り組んでいきます。



三松小学校
川崎 伸幸

申間市教育委員会から赴任しました。いつも、子どもたちが、はじける笑顔と輝く瞳を見せてくれるよう、全職員で頑張りたいと思います。



三松中学校
大津 新

自然豊かで、人情味あふれる小林市で教育に関わることができ感謝しております。本校の伝統「三松魂」を生徒と共に受け継いでまいります。



細野中学校
甲斐 昭晃

都城市立石山小からの転入です。小林は教師生活の出発点。子ども三人もこの地で育ちました。「現状維持はマイナス」の精神で頑張ります。



小林中学校
田中 登

42年振りに母校へ帰って来ました。母校に帰れたことに感謝しています。次代を担う子ども達を育成するために、職員と力を合わせ全力で頑張ります。



紙屋小学校
鶴田 純子

新任校長として永久津小から赴任しました。生まれ育った小林市の紙屋小に勤務できて大変うれしです。職員と一丸となって精一杯頑張ります。



栗須小学校
井之上 健次郎

三十年ぶりに故郷の小林に赴任でき嬉しく思います。花と笑顔いっぱい栗須小。助力の心で保護者・地域の皆様と共に、職員一丸で頑張ります。

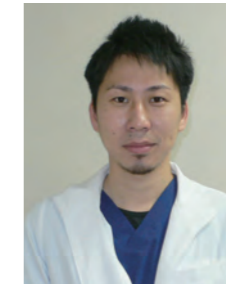
市立病院へ3人の医師が赴任しました

4月1日、小林市立病院へ2人の医師が常勤医師として赴任しました。また5月7日付で1人の医師が常任医師として赴任します。

整形外科医員
城光寺 豪



泌尿器科医員
黒島 和樹



救急科医員
川井田 望



平成25年度 新規採用職員16人を紹介します

平成25年度の小林市役所新規採用職員16人です。元気のよいあいさつを心がけ、市民の皆さんとともに小林市のまちづくりに取り組んでいきます。



▲教育部学校教育課
教育指導主事
岩切 淳



▲教育部
保健体育課
榎田 康亮



▲経済土木部
農業振興課
大竹 聡



▲市民生活部
ほけん課
川添 健央



▲健康福祉部
長寿介護課
小原 卓実



▲経済土木部
農業振興課
坂元 俊亮



▲教育部
学校教育課
村脇 潤哉



▲市民生活部
税務課
森 清文



▲総合政策部
企画政策課
森本 潤葵



▲経済土木部
商工観光課
大坪 拓哉



▲市民生活部
市民課
下湯 綾香



▲総合政策部
市民協働課
横山 悠希



▲水道局
水道課
黒木 遼



▲水道局
水道課
和田 竜斗



▲経済土木部
建設課
音堅 真広



▲健康福祉部
健康推進課
白ヶ澤 かよ子

小林市の観光PRに華を添える 第27代コスモスレディが決定

3月31日、まきばの桜まつり会場で小林コスモスレディの退任式および選任式が行われました。式では市観光協会の吉留高志会長が「伝統あるレディの仕事先輩に負けない笑顔で務めてほしい」と激励。その後、思いを託したタスキが引き継がれました。選任された2人は、一年間、市内外のイベントなどで小林市の魅力PRのために活躍します。



【写真】さまざまな場面で活躍した第26代コスモスレディの2人。左から渡邊野乃香さん、櫻山英恵さん



【左・北ノ蘭真美さん】「小さな頃から住んでいる小林市の魅力を一人でも多くの人にPRしたいです」
【右・曾木玲奈さん】「小林市のおいしい食べ物や魅力を伝え、親しまれるレディになりたいです」

市内選りすぐりの138頭が出場。第8回小林市総合畜産共進会



【写真上】グランドチャンピオンに輝いた田中さんの「ふじ」
【写真下】各出場牛を観ようとギャラリーも集まる

4月12日、第8回小林市総合畜産共進会が西諸畜連で行われました。和牛4部門に市内の138頭が出場し、細野の田中了子さんの「ふじ」（育成2類）がグランドチャンピオンに決定しました。「ふじ」は父が「忠富士」、母の父が「福之国」。各部門の順位は以下のとおりです。

【結果・敬称略】

優等首席、2席、3席（雌子牛のみ4席、5席）の順
■和牛の部▼雌子牛…飯谷良明・「あじさい」、里岡広信・「あすなろ」、永久井博昭・「かつひめ」、庭山弘人・「ふみの」、坂之下智・「なつき」▼去勢子牛…平賀功一・「福政義」、吉蘭節次・「星矢」、土居義信・「跡瀬163」▼育成1類…脇屋敷一男・「たんぼぼ」、水元通男「ふくむすめ296」、新竹貴文・「みゆ」▼育成2類…田中了子・「ふじ」、永久井博昭・「しょうちく」、森田直也・「どひょんでら75」
■肉牛枝肉の部・金賞…有限会社馬場牧場■環境衛生共励会▼養豚の部…木下俊満▼養鶏の部…芝原靖彦■乳質改善共励会…森潤一郎



2



1



6

5



4



3

3月30日と31日、まきばの桜まつりが開催されました。例年より早い開花の影響があったものの、多彩なイベントや味覚を求めて1万8,000人が来場。ステージでは、ダンスや演奏などのイベントのほか、市観光イメーজキャラクター「こすモ〜」が初登場。30日の夜には花火が打ち上げられ、夜桜との競演が来場者を魅了しました。また、特産品が並ぶ「さくら市」やグルメコンテストなどが実施され、花見客を楽しませました。

「こすモ〜」が初登場
まきばの桜まつり

1 小林幼稚園によるステージ
2 花火がまきばの夜空を彩る
3 1,000本の桜は葉桜に
4 初めて見る「こすモ〜」に子どもたちも興味津々
5 購入者の得票で決めるグルメコンテスト
6 吉都線100周年記念事業のブース。募金者にはエコバッグを配布

第3分団第11部の積載車を更新

3月30日、梅の天神で消防団第3分団第11部の積載車が更新されました。神事後、黒沢津和彦部長(24年度部長)に小型ポンプ積載車両を交付。黒沢津部長は「心機一転地域の防災に取り組みたい」と話しました。



退任行政相談員の山之口さんに感謝状

行政相談員として16年にわたり市民の相談を受けてきた山之口志朗さんに、4月9日、感謝状が贈られました。山之口さんは「さまざまな相談を受け大変勉強になった。良い経験をさせていただいた」とあいさつしました。



コスモス牧場が9月まで限定再開

4月3日、昨年11月から休園していたコスモス牧場が営業を再開しました。9月までの期間限定。開園初日、再開を待ちわびた家族が訪れ、小動物との触れ合いなどを楽しみました。



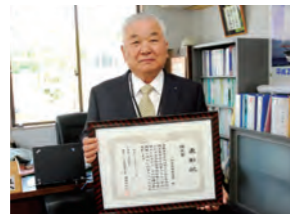
駅南土地区画整理事業が完了

3月22日、小林駅前(駅南)土地区画整理事業が完了したことに伴い、記念碑が建立され、除幕式が行われました。地域の住民や関係者など約50人が出席。計画から約40年で完了した事業に、出席者は思いをはせていました。



市教育委員会が表彰を受ける

3月28日、小林市教育委員会が県公立学校職員健康づくり推進協議会から表彰を受けました。これは、市内全ての小中学校に、教職員の職場環境の改善を図る組織を設立し、推進してきた取り組みが評価されたものです。



式では、石合勇さんが代表し岩下武史教育委員長から委嘱状を受け取りました。各学校には4人から6人の委員が置かれます

地域が学校づくりに参画 コミュニティ・スクール開始

4月11日、学校運営協議会委員への委嘱状交付が行われました。この制度は、市内全小中学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校と保護者、地域が連携して学校運営を行うもの。肥後市長は「学校の応援団として、児童生徒たちの成長のために力添えいただきたい」とあいさつしました。



河野俊二宮崎県知事は「小林市は、全共連覇に大きく貢献した畜産地域。3年前を教訓に防疫について確認を」と呼びかけました

3年前の教訓を生かすために 小林市で家畜防疫演習

4月19日、県内での口蹄疫発生が確認されて3年前を前に第1回宮崎県家畜防疫演習が中央公民館で行われました。市内外から県、市やJAの職員など約300人が参加。口蹄疫と疑われる牛が見つかったとの想定で、県庁とのテレビ会議や殺処分した家畜の埋却地掘削実演などが展開され、初動対応の手順を確認しました。

郷土愛護の精神で使命感を胸に 地域防災を担う消防団に41人が入団

4月1日、消防団入退団式が須木総合ふるさとセンターで行われました。本年度は退団者39人、入団者41人。入団者は以下のとおりです。

【入団者】▼第1分団第1部…久我真弘、宮内悠次、大川内健悟▼同第4部…川添健央、永山椎麻、児玉雄一、竹村奈保人▼同第5部…堤田春一郎、大坪和政▼第2分団第2部…緒方大介▼同第3部…金丸勝紀、岩渕弘幸▼同第12部…前田良太、佐藤俊隆、炭床大地▼第3分団第9部…指宿和也、原田幸志郎、黒木哉太▼同第10部…立野久信▼同第11部…右田優希▼第4分団第7部…飯谷昭博▼同第8部…黒仁田知幸、永久井雅寛、永久井翔、黒仁田真一、西ノ村一真▼同第15部…小原卓実、坂元修平▼第5分団第2部…前田啓志郎、▼第



入団者を代表して、第1分団第1部の宮内悠次さんが「郷土愛護の精神に基づき使命達成に努めます」と宣誓しました

6分団第3部…源猛▼同第6部平野秀樹▼第8分団第1部…下湯啓太、馬渡祐次▼同第2部…川久保信也▼第9分団第4部…園田和也、荒川大輔▼第10分団第5部…大角一如、吉行輝真▼同第6部…黒木誠志、川野孝宏▼女性部…山崎みなみ

看護の道を志し決意 准看護学校に20人が入学

4月10日、西諸医師会立小林准看護学校の入学式が行われました。内村大介校長が「挫折もあると思うが、低い水準で満足しないで、逃げずに努力してほしい」と祝辞。新入生を代表し村田茉莉花さんが「悔いの残らないよう、学業と実習に努力します」と決意を述べました。



新入生は同日、小林西高衛生看護科にも入学し、今後2年間、小林西高に通いながら、病院で実習を行い知識と技術を学びます



今回寄贈された救急車は、中央消防署に配備され、皆さんの安心安全を守るために活躍します

救命率の向上に期待 JA共済が高規格救急車寄贈

3月22日、JA共済連宮崎から西諸広域行政事務組合消防本部に高規格救急車が寄贈されました。引渡式では、JAこばやしとJAえびのの両組合長から西諸広域行政事務組合代表理事の肥後市長にかぎを贈呈。JAこばやし坂下栄治組合長は「西諸地域の住民が安心して生活できるよう活用してほしい」とあいさつしました。